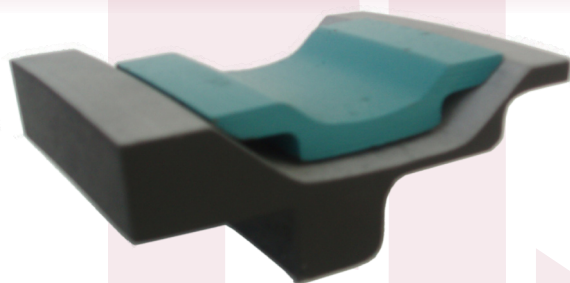


フィラーリング

ドライヤのキャリヤ溝にフィラーリングを設置することにより、
適正な**深さ**と**幅**を提供します。

特長

- フィラーリングは「ロープとドライヤ表面の速度差を少なくする」および「テールを挟む力を強くする」ための機器です
- 通紙テールの弛み・外れを少なくし、通紙時間を短縮して生産性を向上します
- ドライヤごとに溝形状を測定し、フィラーリングを製作します
- フィラーリングは一日あたり8本前後の取付が可能です

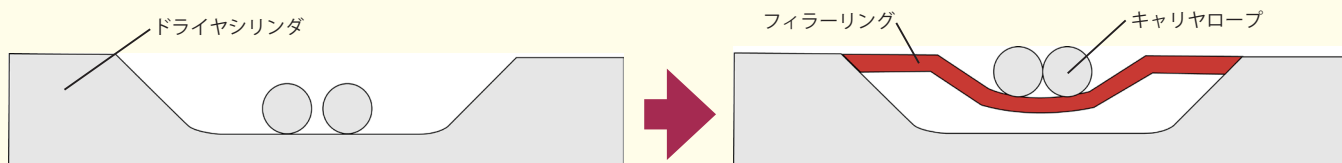


ドライヤ内をキャリヤロープで通紙する際、なぜ通紙テールの蛇行が起こるのか？


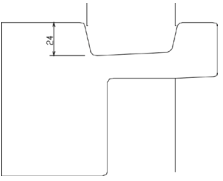
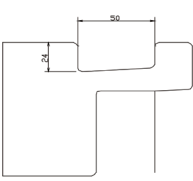

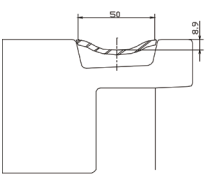
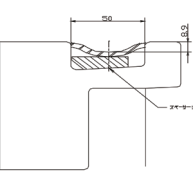
ドライヤシリンダのキャリヤロープ溝が深すぎるとロープの速度がシリンダ周速よりも著しく遅くなるので、通紙テールが弛み蛇行が生じます。

| | | | | | |
|------|----------|--------|---------|--------|------------------|
| (参考) | 抄速 | ドライヤ径 | キャリヤ溝深さ | ロープ径 | シリンダ周速とロープ速度の速度差 |
| | 800m/min | 1524mm | 19mm | 12.7mm | 13.3m/min |

キャリヤ溝幅が広すぎるとロープがテールを挟む力が弱くなり、通紙テールがロープから外れ易くなります。



ドライヤ溝形状による分類

| | | 形状 I | 形状 II |
|--------|---|---|---|
| | | キャリヤ溝両端がテーパ | キャリヤ溝両端または片側ストレートで底部がテーパまたは平ら |
| BEFORE |  |  |  |
| AFTER |  |  |  |

備考 フィラーリング取付によりキャリヤロープの位置が多少変わり、群間でロープが互いに接触する可能性があります。フィラーリング取付後、ロープを張った状態でロープ位置の確認、調整をお願いします。